

卓話表題：特派員の仕事



卓話者の紹介 徳物葉子様/札幌はまなすRC

大野圭一郎様 (元共同通信社 那覇支局長)



卓話の様子

大野圭一郎氏を囲んで(^)♪

Imagine Matsuda

代表取締役 **松田 強**
MATSUDA TSUYOSHI

有限会社 イマジンマツダ
〒901-2103
沖縄県浦添市仲間1-6-6
TEL:098-876-5533 FAX:098-876-5531
携帯 090-3323-6303
E-mail: imaima5656@icloud.com

普天満宮

文明を創造する技術者のネットワーク

建設コンサルタント

上城技術情報 (株)

本社 〒901-2226 沖縄県宜野湾市嘉数2-18-20
TEL:098-870-2227 FAX:098-870-2230

代表取締役 **宮城 富夫**

一級建築士
一級土木施工管理技士
一級管工事施工管理技士
RCOM 土質及び基礎
RCOM 鋼構造及びコンクリート
RCOM 土木建築及び工業用水道
水質関係第2種公費防止管理者

37th Anniversary since 1986

会員さん企業
週報広告掲載募集
5月～6月号 5,000円
(4枠)
広報・会報委員長 **河村**

職業宣言 2. 天与の職業を愛情をもって育てることが、職業奉仕だ。

週報 GINOWAN WEEKLY
THE ROTARY CLUB OF GINOWAN

2024年 3月27日号
第2618回



2023-24年度 RI会長テーマ

世界に希望を生み出そう ----- CREATE HOPE in the WORLD

2023-24年度 第2580地区 合言葉

ロータリアンの心に火をつけよう ----- Get the Joy of Rotary

2023-24年度 クラブ会長テーマ

クラブの進化に挑戦する ----- CHALLENGING Club Evolution



例会場: ラグナガーデンホテル TEL:098-897-2121
例会日: 毎週水曜日 12:30-13:30
事務所: 宜野湾市大山 2-9-25-2F
TEL: 098-898-9000
FAX: 098-898-0003
MAIL: info@ginowan-rc.org

2023-24年度
会長: 平仲 絢子
幹事: 河村 哲
広報・会報・ウェブ委員長: 河村 哲

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか

水と衛生月間

*** 第2617回 (2024年3月13日) 例会報告 ***

■例会プログラム

司 会：天久 宏幸
 開会点鐘：平仲会長
 ゲスト・ビジター紹介：仲吉 サダ子
 斉 唱：奉仕の理想・四つのテスト
 ソングリーダー：阿嘉 よね子
 エコ思想推進宣言：岡江 保彦
 会長挨拶：平仲 絢子
 幹事報告：河村 哲
 委員会報告：天久 宏幸
 卓話：大野圭一郎氏
 閉会点鐘：平仲会長



■会長挨拶



平仲絢子会長

皆様、こんにちは。昨日、東京で北島康介さんにお会いしてお話を伺う機会がありました。皆さんもご存じの通り、競泳種目でアテネ・北京とオリンピック2大会連続金メダルを獲得したアスリートです。現在は起業し、パリオリンピックに出場が決定している柔道の阿部兄妹や競泳の萩野選手など多くのアスリートにマネジメントを担っているとのことでした。その他にも、トレーニング用品の輸入販売やスイミングクラブの運営、東京都水泳協会理事など様々なビジネスを展開されています。現役時代から、常にポジティブ思考で、明るく爽直としたイメージでしたが、実際にお会いしてみると落ち着いた着きがありながら、実業家としての自信に満ち溢れたとても素敵なお方でした。彼から発せられる言葉には、本質が込められていて、その根底には現役時代からの様々な経験が糧となっているのだと実感いたしました。

アスリートは、そのキャリアの中で壁にぶち当たったり、スランプになったりと常に順風満帆とはいかないものです。それをどう克服していったのか、また世界のトップにかかるプレッシャーへの向き合い方はどうだったのか、質問してみました。印象的だったのは「どのような自身の状態・結果も受け入れる、認める」という言葉です。「試合にはこれ以上やれることはない」という準備をして臨んでいる、そしてすべてを楽しむ、その過程の積み重ねが自信となるし経験として自信をつくり上げていく」まさに、彼が実践してきた道だと思えます。常に真剣に協議と向き合い、しかし楽しむことを忘れない、この精神はスポーツだけでなく、何事にも大切な要素であると感じましたし自ら実践していこうと思う言葉でした。とても貴重な時間を過ごさせていただいたことに感謝しています。

■ニコニコの趣旨

■大野さん本日は卓話ありがとうございました。世界情勢を最前線で取材されてきたお話、大変臨場感がありました。特派員の皆様の活躍があって私たちは世界各地のニュースを知ることができるんですね。ぜひまたお話を聞かせて下さい(平仲 絢子)
 ●卓話ありがとうございました。(山里将/浦添RC)

■大野さん本日は世界の現場で起きている生々しいお話にワクワクしました。私も2012~18でスーダンに出入りしてまして、今の惨状に心を傷めてます。また改めてお話をさせて下さい。(河村 哲)

■大野様、素晴らしい卓話ありがとうございました。本日は多くのゲスト・ビジターの皆さまへお越し頂きありがとうございます。(仲吉サダ子、新垣真由美)

■大野様、世界情勢の話とても勉強になりました。たくさんのゲスト・ビジター様宜野湾RCへお越し頂きありがとうございました。(城間 幹夫)

■多くのゲスト・ビジターの皆さん宜野湾RCへようこそ！大野さん基調卓話ありがとうございました。(宮城 富夫)

■色々な角度から学びがありました。ありがとうございました。(阿嘉 よね子)

■大野様、卓話有り難う御座いました。世界情勢について大変勉強になりました。(高橋 清一郎)

■ニコニコ(財団/米山寄付)

前回累計	¥396,840	¥31,587
第2617回	¥9,000	¥2,138
累 計	¥405,840	¥33,725

《3月ロータリー換算レート \$1=¥151》

■出席報告

出席報告	前 回	今 回	
例会NO.	2616	2617	
例会日	3月6日	3月13日	
会員数	28	28	
出席者数	13	14	
出席免除者数	2	2	
算定用会員数	26	26	
出席率	50.00%	53.85%	
メークアップ	一般会員	4	2
	免除会員	0	0
訂正出席者数	17	16	
訂正算定分母	26	26	
訂正出席率	65.38%	61.54%	

■ゲストビジター紹介 仲吉サダ子会員



☆ゲスト

- ・大野圭一郎様(徳物葉子準会員紹介)
- ・東江繁子様(宮城 富夫会員紹介)
- ・伊藤勝敬様(河村幹事紹介)
- ・下地一史様(白間弘造会員紹介)
- ・真栄里嘉邦様(岡江副会長紹介)

★ビジター

- ・徳物葉子様(札幌はまなすRC)
- ・大原博様(那覇西RC)
- ・平良友美様(浦添RC)
- ・宮林孝治様(コザRC)
- ・山里将様(浦添RC)

■幹事報告 河村幹事



【幹事報告】

- ①奨学生クレジージュからのお礼のメール紹介
 - ②ロータリーの風ワインのご案内
- 【回覧】
- ①ロータリーの友3月号45ページに沖縄トリック中学高等学校が新インターアクトクラブとして紹介されています。

■委員会報告 天久社会奉仕委員長



北谷町社協から3/26(火)9:00より北谷町役場においてボランティアレインボー所属の子供たちによる手作りクッキーの販売活動にご協力依頼が来ておりますのでご案内致します。

■例会予定

<本日>

◆第2618回3月27日(水)
 通常例会(平仲朱那さん壮行会)

◆第2619回4月3日(水) 理事会
 卓話：高江洲義之氏
 (宜野湾市観光振興協会 事務局長)
 演題：宜野湾の美ら海物語～
 観光商材としての価値

●4月10日(水) 振替休会
 (4/13親睦イベント開催の為)

◆第2620回4月13日(土)
 親睦イベント(バーベキュー大会)

●4月17日(水) 振替休会
 (4/16地区協議会開催の為)

◆第2621回4月24日(水)
 地区協議会報告

◆第2622回5月8日(水)
 移動例会：職場訪問(河村ファーム)

●5月15日(水) 振替休会
 (5/16中和圓通RC周年式典参加の為)

◆第2623回5月22日(水) 理事会

●5月29日(水) 特別休会

◆第2624回6月5日(水) 理事会

■地区・各クラブよりお知らせ

●例会休会のお知らせ

・浦添ロータリークラブ
 日時：3月29日(金) 休会
 <定款第7条第1節d項(1)>

・那覇東ロータリークラブ

日時：3月28日(木) 振替休会
 3/24地区補助金活用事業(牧志公園)実施
 日時：4月11日(木) 振替休会
 4/16地区研修協議会に振替
 日時：5月1日(木) 祝日週休会

・名護ロータリークラブ

日時：4月17日(水) 振替休会
 4/16地区研修協議会に振替

●例会変更のお知らせ

・浦添ロータリークラブ
 日時：4月12日(金) 移動例会
 会員職場訪問例会に変更



大野圭一郎氏（元共同通信社那覇支局長）

ご紹介頂きました大野といいます。

私は土台としてバンコク、ナイロビ、ブリュッセルそしてジャカルタに赴任して参りました。今回はカンボジア、ミャンマー、アフリカの話に絞ってお話をしたいと思います。

私がタイに赴任したのが1992年8月です。丁度その年の5月に民主化運動が高まり、連が民衆に発砲して沢山の犠牲者が出ました。その時の首相スチンダーと野党党首チャムローンが対立しておりプミポン国王の和解勧告によりスチンダー首相は辞任をしまして、その辞任に伴う選挙が行われ、その選挙の取材が私の最初の仕事になりました。当時インドネシア支局はハワイとバンコクにありました。バンコク支局はミャンマーとカンボジアとラオスそれからタイ。その4か国を担当しておりました。

当時はインターネットもほとんど発達していない状態ですので、ラオスとかよその国の取材をラジオ放送で得ていました。ですからミャンマー国営放送をモニターするミャンマー人、ラオスの国営放送をモニターするラオス人それから200万人虐殺されたという放送をモニターするカンボジア人とそういう人達が働いていました。カンボジアは当時内戦が終わり国連の管理下で「カンボジア内政統治機構」が選挙が終わるまで統治しておりました。その時の国連の代表が日本人の明石康氏でした。カンボジア内戦というのはベトナムが養和したプノンペン政権と反ベトナムのシアヌークとポルポトとサンセンこの3つの派が連合を作って内戦をやりましたが和解となり新しい政権を作って行こうかという事でUNTAC（国連カンボジア暫定機構）当時の下選挙をするという状態でした。当初は上手くいっていましたが段々ポルポト派が距離をおくようになり最終的にはジャングルに入って枠組みから離脱しました。選挙は1993年5月に行われたが、ポルポト派は5月初旬から選挙妨害をするという宣言をしており、アンコールワットのシェムリアップ周辺を襲撃するようになり、選挙当日はシェムリアップを襲うこととなりました。私は国連の飛行機でシェムリアップ入りしましたが、見送りに来た友人や同僚たちは最後の別れのような重々しい雰囲気でお別れしたことを覚えています。さて、現地の取材ですが、私が最初にやったことは、ポルポト派が薬缶に民衆を襲ったりするので、夜間はアンコールワットに避難し多いときは1,000人位の人々がそこにいました。私は朝と夜に話をするのが仕事でした。選挙も無時終わりカンボジアは今は国王体制になった訳です。シアヌークは一時北京に亡命しておりましたがUNTACが入り政治が安定した時に戻って来ましたが、その時のボディガードが凄く乱暴な人で記者が近づくと蹴ったり、どついたりと暴力的で、私も私も1回足を蹴られた事もありました。カンボジアはこんな感じで終わりとして、今度はミャンマー情勢が動き始めました。アウン・サン・スー・チーさんがお母さんの看病のためイギリスから戻って来たその時にミャンマーも民主化運動が起きて、それを目の当たりにしたスーチーさんが公民民主連盟という民主化運動を進めていたが、1990年の選挙があるその前に自宅軟禁にされて1995年に解放されました。解放に当たっては軍事政権がスーチーさんと対話をするようになったので近いうちにあるかもと私も何度かミャンマー入りして許可を得て地方のルポをしました。しかし、必ずその土地の政権の人が付いてくるので取材といっても住民から本当の話は聞けません。1995年7月10日に遂にスーチーさんが解放されました。4日後に記者会見がありました。大きな円卓に乗ったスーチーさんを囲むように記者がおりましたが、私は諮らずともスーチーさんの真後ろにいて記者会見の写真にしっかり写ってました。そんなこんなでアジアの特派員は終わって2年後にナイロビに赴任しました。ナイロビの最大の出来事はナイロビのアメリカ大使館とタンザニアのダルエスサラームのアメリカ大使館が同時に爆発された事です。実は当時スーダンの飢餓の取材に行っていて、テントを張っての取材でしたがBBCのラジオからアメリカの大使館が爆破されたとの情報を聞きました。本当はすぐにでもナイロビに戻りたかったが国連の飛行機が用意できたのは二日後だったのでナイロビの取材はロンドンからの応援の記者が行われたので私は出る幕なかったという事です。

イギリスのシンクタンクによると、今世界は完全な民主主義国家は24か国、欠陥はあるけど一応民主主義という国は50か国、民主主義と独裁が混じっている国は34か国、完全独裁体制の国が59か国あるという統計があります。これを見ると一応民主主義と言われる国は44%で独裁と言われる国は55%で独裁国が多いですね。もう一つスウェーデンのシンクタンクによれば、独裁化が増々進んで昨年の状況は1986年の状況に戻っている。つまり昔は社会主義国家が沢山ありましたから最近の傾向としてはアジアと東ヨーロッパが独裁化が進んでいると、東欧ではハンガリー、セルビア、クロアチア、ルーマニアが、アジアではインドが一番独裁化が進んでいると、第2大陸の中国がそういう風になったら世界はどうなるかなと私は思っています。独裁国家というのはメディアを弾圧します。逆にメディアがちゃんとしないと政権を監視できないから独裁化が進んでいく。更にネットの発達でテレビとか新聞・雑誌というジャーナリズムを総合するメディア媒体が経営が悪くなって凄くジャーナリズムが弱くなっている状況があります。

凄く端折ってしまいましたが、これまでご清聴ありがとうございました。

能登半島地震支援活動
北谷町社会福祉協議会「ボランティアレインボー」



ボランティアレインボーに所属する子供たちが北谷町役場にて手作りクッキーの販売をしました
クッキー大人気でした!!



新垣真由美会員auスタッフさん美味しそうに頂いております(^_^)